

時津町は「^{うちどく}家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじ む ねん はるごう
幼児向け 2025年 春号



「^{はる}だって春だもん」

小寺 卓也/写真・文（アリス館）

^{ゆき}雪が^つ積もった、^{もり}森のなか。草や木の芽、
どんな^{ちい}小さな生きものも知っている。もう
すぐ春がやって来ることを！^{せいじやく}静寂の森の中
から、草花が芽吹き、動物たちが動き出す
^{しゅんかん}瞬間を写真でとらえた絵本。

^{はる}春を待ちわびるのは、みんな一緒なので
すね！

^{うちどく}家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本に
ついて話す。これが「うちどく（家読）」です。
難しいルールは要りません。

家族みんなでルールを決めてはじめてみま
しょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさん
やおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい
時間を過ごしましょう。



「うさぎのニコラス」

リチャード・スキャリー/え オーレ・リソム/さく
木坂 涼/やく（好学社）

「ぼくはうさぎのニコラス このおおきな
きのうろが ぼくのいえ」。ニコラスが森の中
ですごく春夏秋冬を描いた絵本。色とりどりの
挿絵が美しく、森の中に入り、ニコラスと
一緒に一年間をすごしている気持ちになりま
す。登場する動物や昆虫を、親子で見つけた
り、数えたりしても楽しいですよ。



「^{しょうがくせい}小学生になったらともだちずかん」

長谷川 康男/監修（ポプラ社）

はじめてのランドセル、はじめての^{きいろ}黄色い
^{ぼうし}帽子、そしてはじめてのおともだち。ドキド
キ、でも、ちょっぴり不安…。あたらしいおと
もだち、できるかな？まずは^{ゆうき}勇気を出して「お
はよう」とあいさつをしてみましょう！

4月から^が小学生になるみなさんへおすすめ
です。おうちの人もぜひ一緒に読んでくださ
い。



「いちごになりました」

鬼頭 祈/さく（福音館書店）

いちろうくんとちいこちゃんは、庭にいちご
をひとつづつ植えました。すると、すぐに芽がで
て、花がさきました。その花のみつをすったち
ょうちょは、いちごちょうちょになりました。
いちごちょうちょを食べたさかなは、いちごさ
かなになって…。

家族で^よ読んだあとには、あまーいいちごを食
べたくなる絵本です。



「トランポリンがありました」

楓 真知子/作（絵本館）

トランポリンがありました。いちばんさい
しょにポーンとうまがとびました。あさに、
ゆうに、^{あめ}雨の日に…ポーン！いろんなどうぶ
つがトランポリンをとびにやってきますよ♪
さいごは、それをおそらから見ていたアレが
…ポーン！

^{かぞく}家族ではずむように読んで、^{たの}楽しもう♪



「14 ひきのぴくにつく」

いわむら かずお/さく（童心社）

^の野ねずみの14 ひきかぞく。^{てんき}天気がいい
今日は、かぞくみんなで春の野原へピクニッ
クに出かけます。春に見られるいろんなお花
や虫たちにかこまれて、とっても楽しそう。

いわむらかずおさんの14 ひきシリーズの
なかで、いちばん春を感じる絵本です。